

令和5年度 第2回 津市教科用図書調査研究委員会 議事要旨

1 日時

令和5年7月24日(月)

午前9時00分から午後5時20分まで

2 場所

津市教育委員会庁舎 4階 教育委員会室

3 出席者

津市教育長 森 昌彦

津市教育委員会委員 西口 晶子

校長代表

白塚小学校長 中林 哲也

美杉中学校長 太田 文彦

幼稚園代表

黒田幼稚園長 正田 まゆみ

保護者代表

津市PTA連合会 樋廻 昌彦

中西 洋智

事務局

学校教育・人権教育担当理事 伊藤 雅子

教育研究・情報教育担当副参事 山下 尊仁

教育研究支援課主幹 伊藤 信介

教育研究支援課副主幹 森岡 良平

4 事項

(1) 開会・会長挨拶

(2) 令和5年度 第1回 津市教科用図書調査研究委員会 議事要旨の確認

(3) 教科書展示会の報告

(4) 議事

ア 各種目別調査員会による調査結果等の報告及び令和6年度使用小学校用教科用図書採択候補について

(ア) 各見本本の調査報告及び質疑・応答

(イ) 採択候補について

(ウ) 調査研究結果の検討

(5) その他連絡事項

(6) 閉会

5 各事項の要旨

(1) 事項(1)について

開会 森会長より開会挨拶

会 長：本日は、第1回調査研究委員の議事要旨の確認、教科書展示会の報告、そして、調査員からの調査結果等の報告を受け、調査研究結果の検討を行う予定となっています。津市の小学生たちが使用する教科書として最もふさわしいものが採択されるために皆様のお力添えをいただくようお願いいたします。今回も「教科書の調査研究の一層の充実を図ること」、「適正かつ公正な採択を確保すること」、「開かれた採択を推進すること」などを基本的な方針とし、検討を進めていきます。一日という長い時間になりますが、委員の皆様には、それぞれのお立場から忌憚のない御意見をお出しいただき、活発に協議いただきますようお願いいたします。

(2) 事項(2)について

「資料1 令和5年度 第1回 津市教科用図書調査研究委員会 議事要旨」が承認された。

(3) 事項(3)について

事務局から「資料2 教科書展示会の報告」のとおり説明があった。来会者は110名であった。

委 員：令和元年度の教科書展示会の来会者と比べて人数はどうなっているか。

事務局：令和元年度の来会者は140名だったので、30名減っている。令和元年度は英語が教科化されたことで、英語の教科書を閲覧しに来た方が多かったと考えている。

(4) 事項(4)について

ア 各種目別調査員会による調査結果等の報告及び令和6年度使用小学校用教科用図書採択候補について

種目ごとに、各見本本の調査報告及び質疑・応答、採択候補に

ついて、調査研究結果の検討という順番で協議を行った。

なお、各教科用図書見本本の特徴を小学校用教科用図書調査実施項目結果一覧表にまとめ報告した。

【書写】

(ア) 各見本本の調査報告及び質疑・応答

調査員代表から各発行者の教科用図書見本本についての調査報告があった。

委員：教科書に二次元コードの記載が増えてきた。書写の教科書の二次元コードが授業でどのように使われているのか。

代表：児童の机上には学習用具がたくさん出ていることから、児童でなく教師がタブレット端末で二次元コードを読み込み、大型テレビに映して使用することが多い。また、タブレット端末を家庭に持ち帰ることがあるので、家庭学習で二次元コードを読み込み使用することが考えられる。

(イ) 採択候補について

調査員代表より選定案に沿って報告があった。

(東書：新編 新しい書写)

(ウ) 調査研究結果の検討

委員：感染症への注意喚起について書かれているところを教えてほしい。

委員：例えば、2年生の教科書3ページ下部に感染症対策について書かれている。

東書の「新編 新しい書写」が選定案として決定された。

【社会・地図】

(ア) 各見本本の調査報告及び質疑・応答

調査員代表から各発行者の教科用図書見本本についての調査報告があった。

(社会)

委員：今使われている教科書と大きく変わった点は。

代表：ICTの活用、二次元コードの充実が予想以上だった。児童の興味関心に応じた資料はもちろんのこと、

教員の働き方改革について意識されている。

委員：教科書1冊あたり、厚くなっているが児童は大変でないのか。1冊になっていて良い点は。

代表：タブレット端末の持ち帰りを考えると、1冊でも2冊でもどちらでも良いと考える。

委員：二次元コードについて、3者の違いについて教えてほしい。

代表：二次元コードを読むことで、動画だけでなくワークシートが掲載されており、児童自らが学習を進められるようになっているのが日文の特長である。東書、日文とも掲載数としては変わらない。

委員：これまで以上に二次元コードが充実しているなかで、既存の資料集は必要と考えるか。

代表：小学校では資料集はあまり使っていない。二次元コードを読むことで十分である。動画を観て、実際に見て確かめることが大切と考える。

(地図)

委員：これまでの地図とは違い、社会の教科書のような。3年生からも使える内容になっている。

代表：3年生から地図を使うにあたり、社会科嫌いを生まないように、より主体的に学ぶことができることを大切にして調査した。

(イ) 採択候補について

調査員代表より選定案に沿って報告があった。

(社会 日文：小学社会)

(地図 帝国：楽しく学ぶ小学生の地図帳)

委員：道徳教育とつながっているとあったが具体的にはどこか。

代表：ウクライナのこと、新型コロナウイルス感染症等の今日的な課題についての記述が見られる。

(ウ) 調査研究結果の検討

委員：日文の教科書が見やすい。教科書内に登場している児童に名前がついていてわかりやすい。

日文の「小学社会」及び帝国の「楽しく学ぶ小学生の地図帳」が選定案として決定された。

【家庭】

(ア) 各見本本の調査報告及び質疑・応答

調査員代表から各発行者の教科用図書見本本についての調査報告があった。

委員：ジェンダーを含む多様性や、性で役割が固定されていないとあったが、教科書のどこに記載があるか。

代表：洗濯を干す場面や、調理をしている場面等において記載がある。例えば、東書では122ページに記載がある。

(イ) 採択候補について

調査員代表より選定案に沿って報告があった。

(東書：新編 新しい家庭)

(ウ) 調査研究結果の検討

東書の「新編 新しい家庭」が選定案として決定された。

【算数】

(ア) 各見本本の調査報告及び質疑・応答

調査員代表から各発行者の教科用図書見本本についての調査報告があった。

(イ) 採択候補について

調査員代表より選定案に沿って報告があった。

(東書：新編 新しい算数)

(ウ) 調査研究結果の検討

東書の「新編 新しい算数」が選定案として決定された。

【音楽】

(ア) 各見本本の調査報告及び質疑・応答

調査員代表から各発行者の教科用図書見本本についての調査報告があった。

(イ) 採択候補について

調査員代表より選定案に沿って報告があった。

(教出：小学音楽 音楽のおくりもの)

(ウ) 調査研究結果の検討

教出の「小学音楽 音楽のおくりもの」が選定案として決

定された。

【理科】

(ア) 各見本本の調査報告及び質疑・応答

調査員代表から各発行者の教科用図書見本本についての調査報告があった。

委員：2年生まで生活で3年生から理科になる。このことに関わって特長はあるか。

代表：発行者によって大きな違いはなかった。3年生の理科では比較することを大切にしているが、生活で学んできたことをもとに考えるようになっている。

委員：啓林館の5年生において津市の写真が掲載されているが、他の学年にあるのか。

代表：5年生以外には見られなかった。

委員：動画がたくさん使われている発行者は。

代表：東書が多かった。

(イ) 採択候補について

調査員代表より選定案に沿って報告があった。

(啓林館：わくわく 理科)

(ウ) 調査研究結果の検討

啓林館の「わくわく 理科」が選定案として決定された。

【生活】

(ア) 各見本本の調査報告及び質疑・応答

調査員代表から各発行者の教科用図書見本本についての調査報告があった。

委員：たねをまいて植物を育てる単元において、啓林館を例に挙げて説明があった。東書も同様の工夫があるが、違いはあるのか。

代表：東書では、植物が育つ様子を教科書に切れ込みがあり、ページをめくっただけでわかるようになっている。啓林館では、教科書に切れ込みがないため、児童が発見する喜びを大切にしていると考えた。

委員：啓林館にあるスタートブック、ステップアップブック

は、他の発行者でもあるのか。

代 表：他の発行者にもある。

(イ) 採択候補について

調査員代表より選定案に沿って報告があった。

(啓林館：わくわく せいかつ上、いきいき せいかつ下)

(ウ) 調査研究結果の検討

啓林館の「わくわく せいかつ上、いきいき せいかつ下」
が選定案として決定された。

【図工】

(ア) 各見本本の調査報告及び質疑・応答

調査員代表から各発行者の教科用図書見本本についての調査
報告があった。

委 員：発行者による違いはあるのか。

代 表：まず同じところとしては、めあてがわかりやすく提示
されている。違いとして、日文では、材料に自然素材
を使ったものが多い。

委 員：教科書は授業でどのように使うことが多いのか。

代 表：導入時に、児童にイメージを持たせたいときや、道具
を使って製作する単元で、家庭から必要なものを持っ
てくる際に保護者にみてもらう時などにおいて、教科
書を使うことが多い。

(イ) 採択候補について

調査員代表より選定案に沿って報告があった。

(日文：図画工作)

(ウ) 調査研究結果の検討

委 員：日文では、新聞の使い方において、より多くの活用
例が示されているため、児童の制作意欲をかきたて
る工夫が見られる。

日文の「図画工作」が選定案として決定された。

【保健】

(ア) 各見本本の調査報告及び質疑・応答

調査員代表から各発行者の教科用図書見本本についての調査
報告があった。

委員：ICTの活用で、二次元コードで動画を視聴するだけでなく、評価にも活用できるのではないか。

代表：二次元コードからワークシートがダウンロードできる。ワークシートに本時で学んだことや振り返り等を記入して、提出することで、教員が指導の振り返りができ、また、児童の学習の様子を把握することができる。

委員：ICTの活用において、二次元コードの数が多いことは教科書の評価につながるのか。

代表：二次元コードの数としては、東書が一番多い。ただ、保健の年間授業時数を考えると、多いことは必ずしも良い評価につながらないと考えている。限られた時間の中で、授業を行うため、二次元コードが全て扱ってはいは授業が終わらないと考えた。

(イ) 採択候補について

調査員代表より選定案に沿って報告があった。

(学研：新・みんなの保健)

(ウ) 調査研究結果の検討

学研の「新・みんなの保健」が選定案として決定された。

【道徳】

(ア) 各見本の調査報告及び質疑・応答

調査員代表から各発行者の教科用図書見本本についての調査報告があった。

委員：ノートがついている教科書とついていない教科書、ノートではないが学習記録が書ける教科書がある。これらのことは調査においてどれくらい重要視したか。

代表：ノートのあるなしの賛否については、調査員でも意見がわかれた。どちらにしても授業において児童は学習の振り返りを書くことになる。ノートがついていることで、問いが限定され、学習が制限されることのないよう、児童の実態に応じた学習が展開でき、また、児童に深く考えさせられるようなノートになっている

かという視点を大切にして調査した。

(イ) 採択候補について

調査員代表より選定案に沿って報告があった。

(日文：小学道徳 生きる力)

委員：ノートがついてくると児童に使わせることが前提になる。外国につながる児童や日本語を書くことが難しい児童等がいるなかで、児童によっては負担に感じるようになるのではないか。児童の実態を把握している教師が学級の実態に応じて振り返りの方法を工夫するのもいいのではないか。

代表：このことについては、調査員会で十分話し合った。その上で、ノートがついている教科書を選定案として提出したのは、毎時間のノートが全て同じ形になっていること、また、問いが書かれていないことで学級の実態に応じて書くことを決めてもらうことができること。また、二次元コードを読み取ることで、タブレット端末で活用することができる。

委員：いじめやインターネットのことについて、日文ではどのように記載されているのか。

代表：日文だけでなく、どの教科書にも情報モラルとして重視して取り扱っている。インターネットやゲームなどを中心に取り上げている発行者と、手紙を書く時の情報の扱いなど広く情報モラルについて取り上げている発行者があった。いじめについては、いじめ防止ユニットとして扱っているのが日文の特長であり、学期に1回は、いじめのことを取り上げていて特に力を入れている。

委員：教材の定番が豊富に取り上げられているとあるが、どれくらい使用されているのか。

代表：例えば、1年生では「橋の上のオオカミ」、「かぼちゃのつる」など、定番の教材があり、各学年で扱われている。

(ウ) 調査研究結果の検討

委員：ノートの使用方はいろいろあるが、使い方がしっかり書かれている。どこまで使うかはあるが、ノート代わりに使う、感想を書くために使うなどできる。また、二次元コードを読み取ることで、教材を読み上げる機能がついていて良い。

委員：ノートについて、絵を描くなど、児童の実態に合わせて使える。

事務局：ノートがあるなしについては、前回も話題になった。中学校ではノートがある教科書が採択された。学校によっては、ノートがないことで、市販のノートを買っている。市販のノートの中には、児童の考えを誘導していくようなものもあり、学校だけで選定していくのは難しいという声がある。ノートがついているかどうかということより、児童の発想を誘導するようなものでなかったり、教師が授業する上で困るようなものでなかったりということであれば、ノートがあってもいいのではという声が学校から届いている。

日文の「小学道徳 生きる力」が選定案として決定された。

【英語】

(ア) 各見本本の調査報告及び質疑・応答

調査員代表から各発行者の教科用図書見本本についての調査報告があった。

委員：中学校の英語は教科書を中心に授業を進めていくが、小学校も同じ使い方か。

代表：学級や児童の実態に応じて、動画や画像、音声を活用して授業を行うため、教科書の端から端まで扱うというわけではない。

(イ) 採択候補について

調査員代表より選定案に沿って報告があった。

(東書：NEW HORIZON Elementary English Course)

(ウ) 調査研究結果の検討

東書の「NEW HORIZON Elementary English Course」が

選定案として決定された。

【国語】

(ア) 各見本本の調査報告及び質疑・応答

調査員代表から各発行者の教科用図書見本本についての調査報告があった。

(イ) 採択候補について

調査員代表より選定案に沿って報告があった。

(光村：国語)

(ウ) 調査研究結果の検討

委員：ICTの活用について、説明がなかったがいいのか。

事務局：本市では、国語の指導者用デジタル教科書を導入しているが、英語のように活用がされていない。児童が教材を読んだり、発表したりという活動が重視されているため、他の教科に比べ、ICTの活用の頻度は少ないと聞いている。

光村の「国語」が選定案として決定された。

(5) 事項(5)について

その他連絡事項

調査員からの報告と調査研究委員会での協議内容を、8月24日(木)及び8月29日(火)の教育委員会に報告することが承認された。

また、教育委員会には、事務局員とともに調査員代表も出席し、調査結果等について報告することが確認された。

(6) 事項(6)について

閉会

事務局から閉会挨拶

理事：長時間にわたり、活発に御協議いただき、厚く御礼申しあげます。みなさまには、令和6年度から津市の小学校において使用する教科書の採択に向けて、公正確保の徹底に努め、適切な調査・研究を行っていただきました。本日、御協議いただき、決定しました内容をまとめ、教育委員会において報告します。今後とも、津市の教育のために、御指導、御助言を賜りますよう、

お願いします。本日は誠にありがとうございました。

以上、令和5年度 第2回 津市教科用図書調査研究委員会の議事
要旨とする。

令和5年度 津市教科用図書調査研究委員会

会 長 森 昌 彦
副会長 西 口 晶 子